

### 医学アカデミー薬学ゼミナール

第107回薬剤師国家試験（以下、国試）は2月19、20日に実施されます。前回の国試（106回）から「新出題基準」に対応し、合格基準に「相対基準」が適応された試験となっています。まずは、106回国試で新傾向の問題をしっかりと確認することから、国試の勉強を始めましょう。コロナ禍で日本の医療提供の手法も大きく変化しています。国試には皆さんが実務実習中に体験した医療現場のトレンドや時事ネタも沢山出題されます。求められる薬剤師像に沿って変化している国試に合格するため、107回国試に向けた「最終チェックポイント」として、薬学ゼミナールの全9領域の科目責任者が「科目ごとの国試対策」を紹介します。

まず始めに、薬剤師国家試験の合格基準をおさらいしておきましょう。厚生労働省の通知により「以下のすべてを満たすことを合格基準とする。なお、禁忌肢の選択状況を加味する」となっています。具体的な要件として①問題の難易を補正して得た総得点について、平均点と標準偏差を用いた相対基準により設定した得点以上であること②必須問題について、全問題への配点の70%以上で、かつ、構成する各科目の得点がそれぞれの配点の30%以上であること——が定められています。

科目	問題区分				出題数計
	必須問題	一般問題	薬学理論問題	薬学実践問題	
物理・化学・生物	15問	45問	30問	15問 (複合問題)	60問
衛生	10問	30問	20問	10問 (複合問題)	40問
薬理	15問	25問	15問	10問 (複合問題)	40問
薬剤	15問	25問	15問	10問 (複合問題)	40問
病態・薬物治療	15問	25問	15問	10問 (複合問題)	40問
法規・制度・倫理	10問	20問	10問	10問 (複合問題)	30問
実務	10問	85問	-	20問 + 65問 (複合問題)	95問
出題数計	90問	255問	105問	150問	345問

※実践問題150問は、「実務」20問、およびそれぞれの科目と「実務」とを関連させた複合問題130問からなる

禁忌肢については「薬剤師には、医療人としての高い倫理観と使命感が求められることにかんがみ、薬剤師として選択すべきでない選択肢(いわゆる『禁忌肢』)を含む問題について、導入することとする。禁忌肢の導入にあたっては、公衆衛生に甚大な被害を及ぼすような内容、倫理的に誤った内容、患者に対して重大な障害を与える危険性のある内容、法律に抵触する内容等、誤った知識を持った受験者を識別するという観点から作問することとする。ただし、偶発的な要素で不合格とならないよう出題数や問題の質に配慮する必要がある」とされています。

薬ゼミの全国統一模擬試験を使用した分析結果によると「禁忌肢を選択しないため」には、①時間配分をしっかりと行って、余裕を持って問題を読むこと②「1

## 国試直前、最終チェックポイント!



茂木 雄輔  
物理科目責任者



上田 敬太郎  
化学科目責任者



石塚 博康  
生物科目責任者



大内 邦弘  
衛生科目責任者



猪又 雄太  
薬理科目責任者



横井 宏哉  
薬剤科目責任者



後藤 健太  
病態・薬物治療  
科目責任者



尾島 良太  
法規・制度・倫理  
科目責任者



坂口 努  
実務科目責任者

つ選べ」が続いた後の「2つ選べ」などでマークミスをしないうこと③「適切でないのはどれか」などの否定形のリード文で選択ミスをしないうこと——等が重要です。

### 物理

本領域は、大きく「物理化学」と「分析化学」に分類されます。物理化学では基本的な内容の問題、グラフ・図・表などを用いてその場で考える問題、計算問題などが幅広く出題されています。分析化学では、医療現場に適用されている分析化学の問題が多く出題されています。

本領域で得点するために、①既出問題を解く際に登場する専門用語の意味を調べて理解する②「グラフ・図・表」に関して、どんな現象を表しているのかを考える③計算問題について「公式」がどんな時に使えるのか確認しておくこと——をお勧めします。出題頻度の高い範囲は、物理化学では熱力学、反応速度論、分子間相互作用、酸・塩基、分析化学ではクロマトグラフィー、分光分析、画像診断です。

### 化学

化学では基礎的な内容に加え、考える力を必要とする問題の出題が予想され

# 何でも載ってる。安心感が違う。

## 治療薬マニュアル 2022

好評発売中



類書の約2倍の頁数を誇る圧倒的情報量

- ほぼすべての医療用医薬品を網羅
- 後発医薬品情報がさらに充実
- まれな副作用、注意事項、警告、禁忌を含む全情報を収載

高機能なWeb電子版付

- 薬剤情報のエッセンスをフルカラーで表示(Quick Drugs機能)
- 全文検索・条件検索・絞り込み検索などに対応
- 薬品名・薬効分類・適応症・禁忌・副作用・製薬会社・識別コードで検索可能

監修 高久史磨・矢崎義雄 編集 北原光夫・上野文昭・越前宏俊

● B6 頁2880 2022年 定価5,500円(本体5,000円+税10%) [ISBN978-4-260-04783-8]

### 実務実習に最適!